

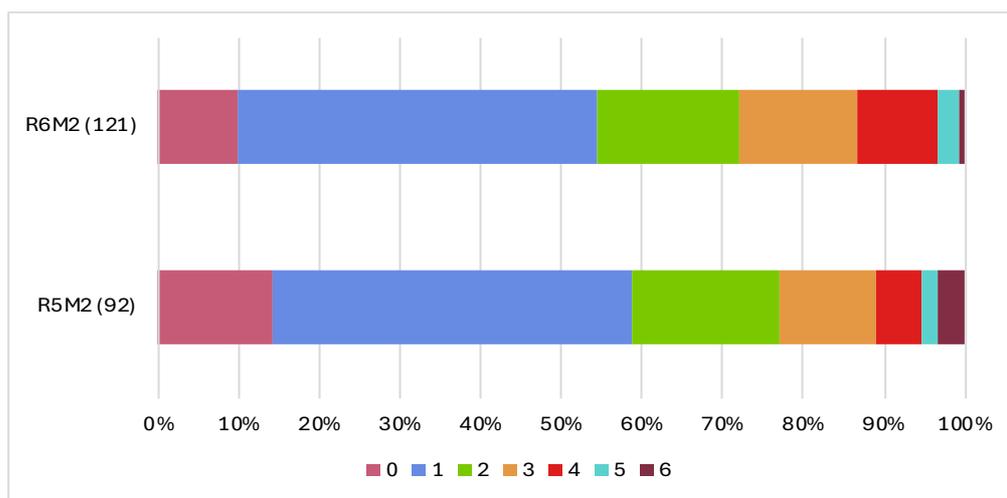
自然科学研究科博士前期課程
進路意向アンケートの経年変化；就職部門（令和5年度～令和6年度）

2025.07.06

R5は5月、R6は7月に行っている。

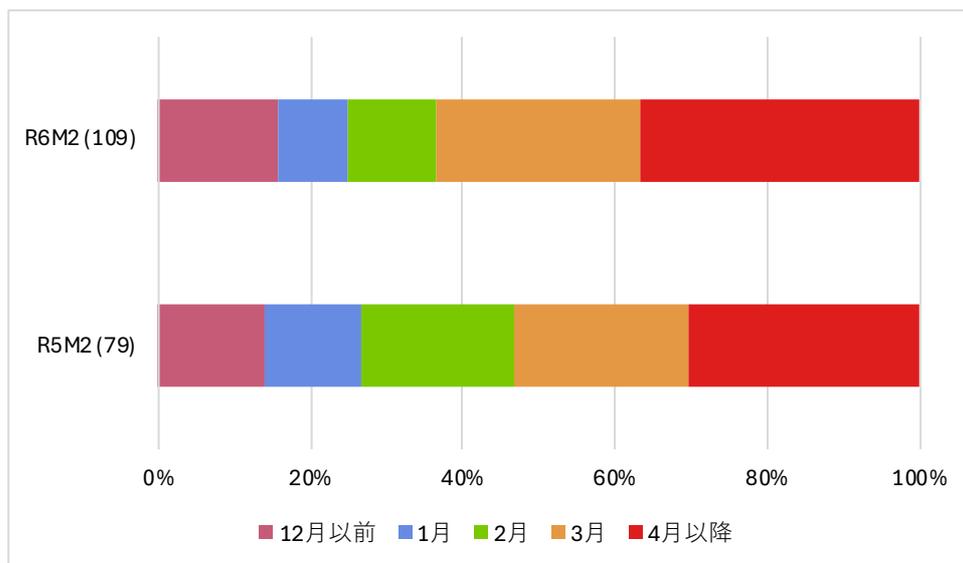
就職すると答えた人へのみの回答（R5M2 92名、R6M2 121名）

内定数



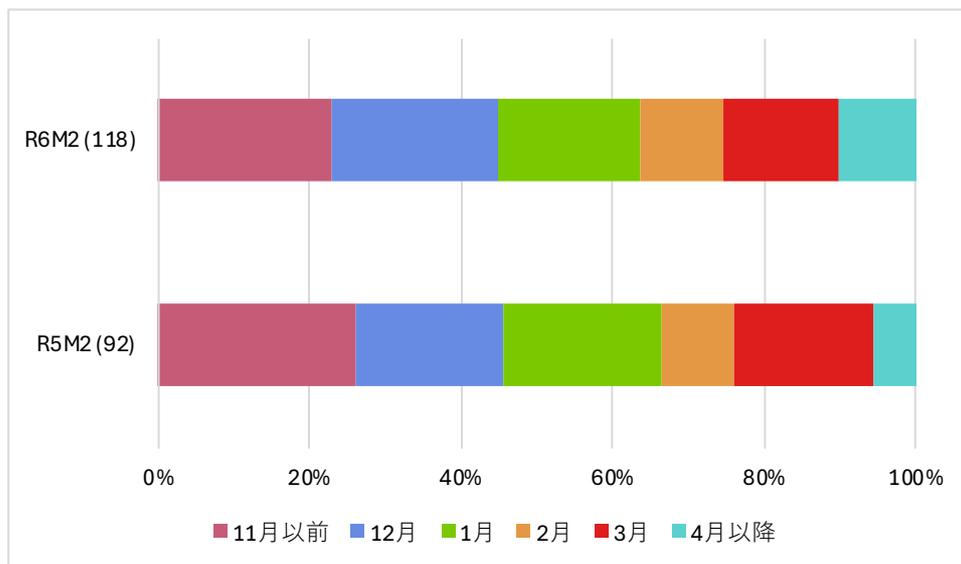
- ・ 1社以上は内定を持っている人が全体の9割程度。
- ・ R6は10%、R5は14%がまだ内定を持っていない。

最初の内定が出た時期（内定ある人のみ）



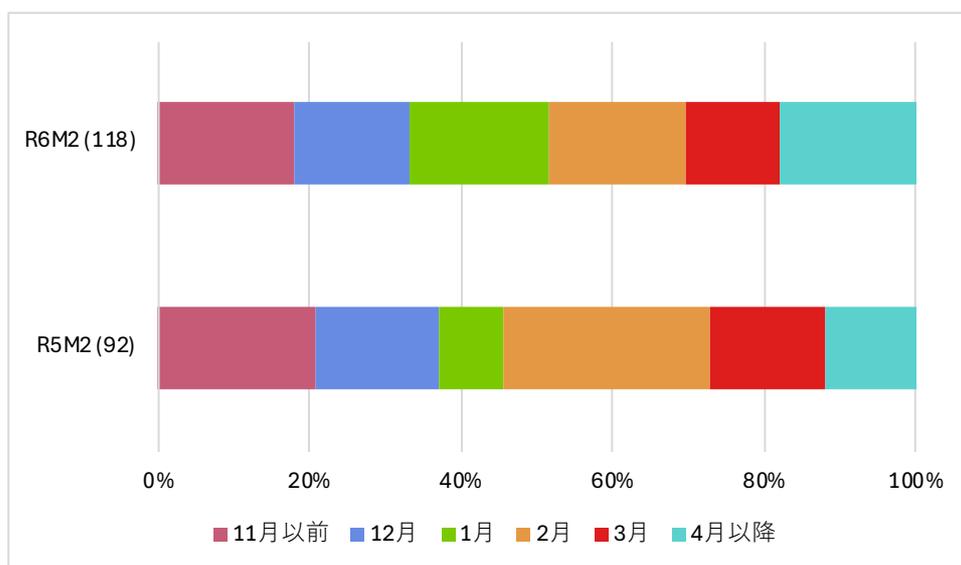
- ・ 6割以上が3月までに内定をもらっている。

選考エントリーシート提出時期

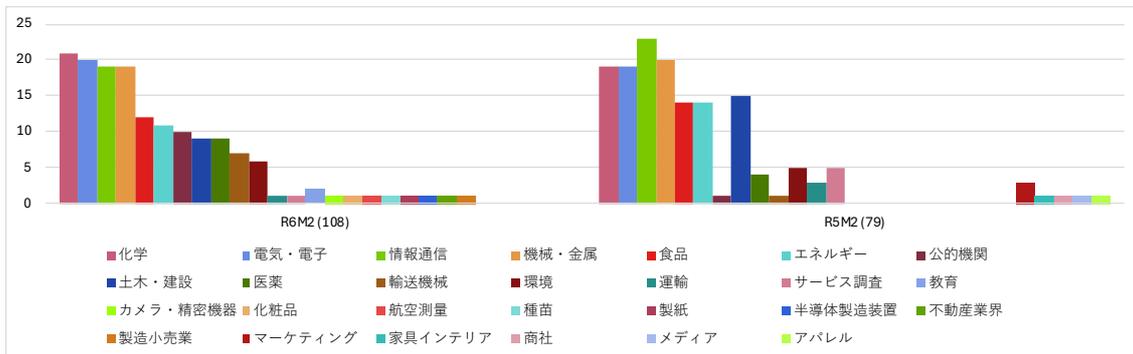


- ・ R6 では、この時期にまだエントリーシートを出してない人が 3 名いた。
- ・ 大きな差はない

最初の選考面接の時期

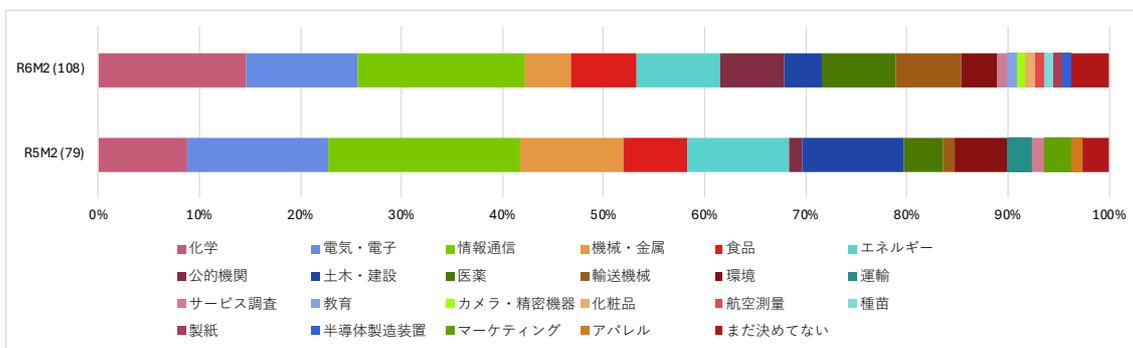


内定を得た業界（複数回答可、内定を持っている人のみ）



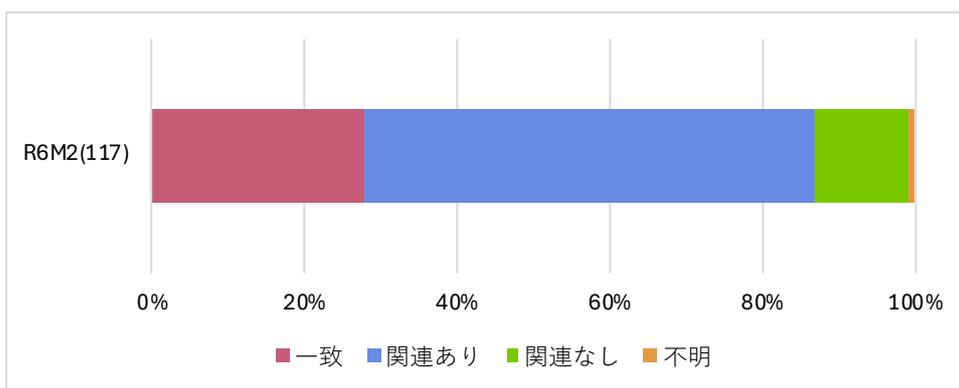
・ %で表している（R6 全体 108 人、R5 全体 79 人）

就職を決めた業界（内定を持っている人のみ）



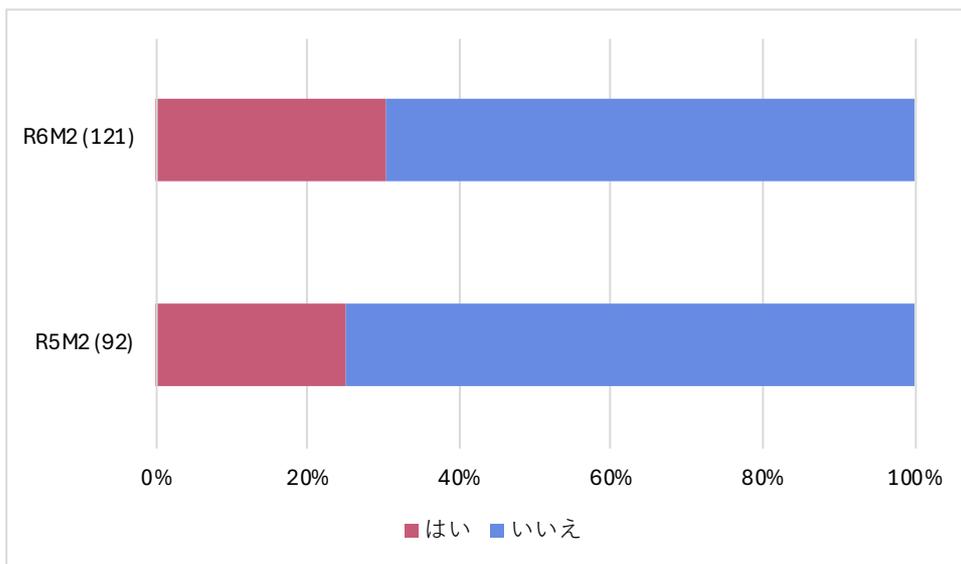
・ まだ内定がない人の中には、公的機関に絞っている人もいます。

就職先は専攻と関係があるか（R6M2 のみ）



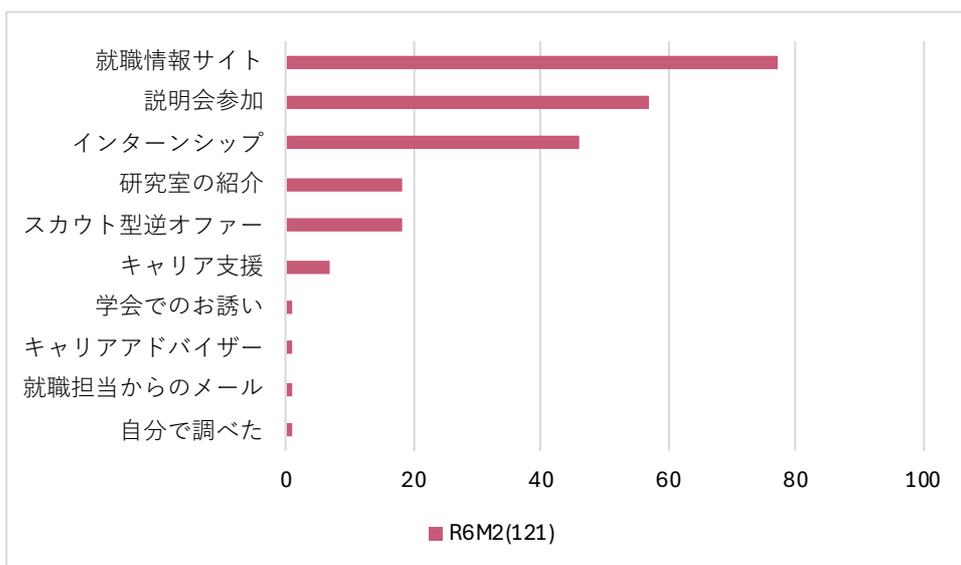
・ 86%の学生が専攻と関連ある職種に就職する。

就職先は県内か



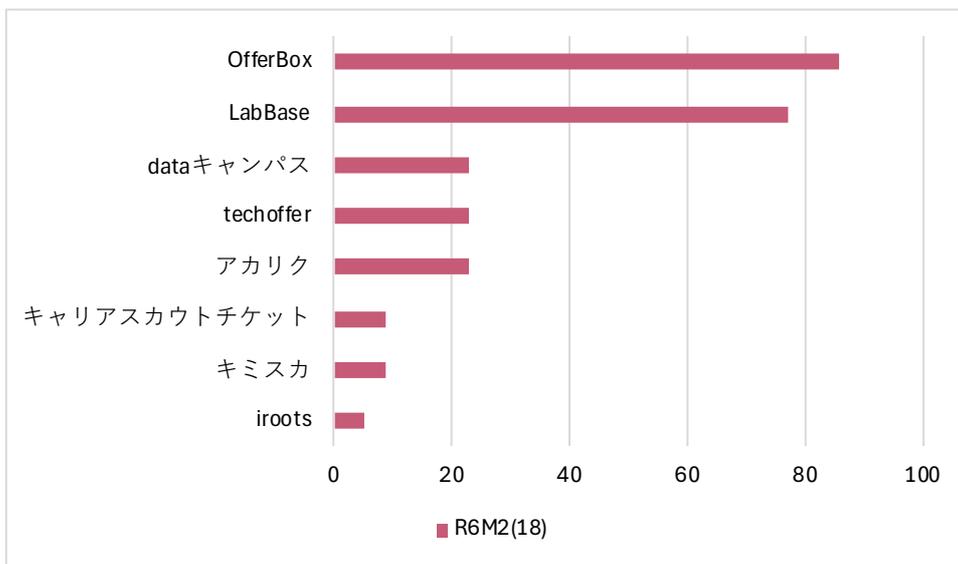
・ 3割弱の学生（R6 は 28%、R5 は 25%）が県内就職

企業の情報収集の場（複数回答可、R6M2のみ）



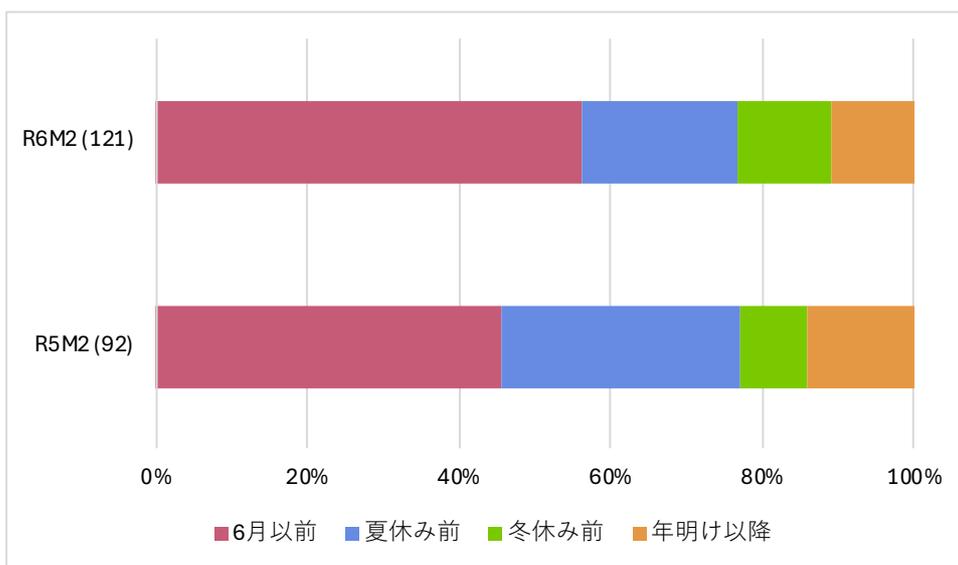
- ・ %で表している（全体 121 人）
- ・ 最も使われているのはネットの就職情報サイト

使用したスカウト型逆求人サイト（複数回答可、R6M2のみ）



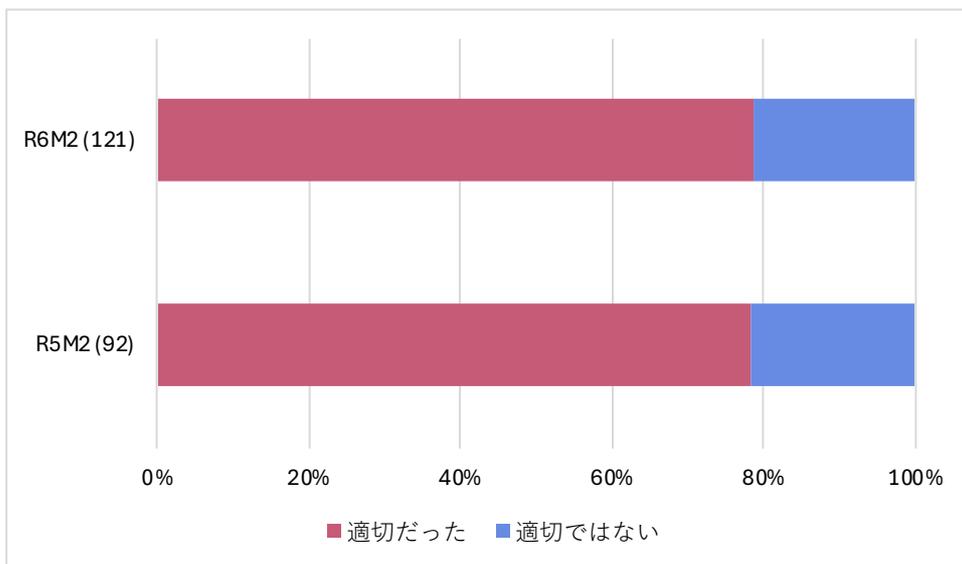
・%で表している（全体 18 人）

就職先の情報収集を始めた時期（M1 のいつ）

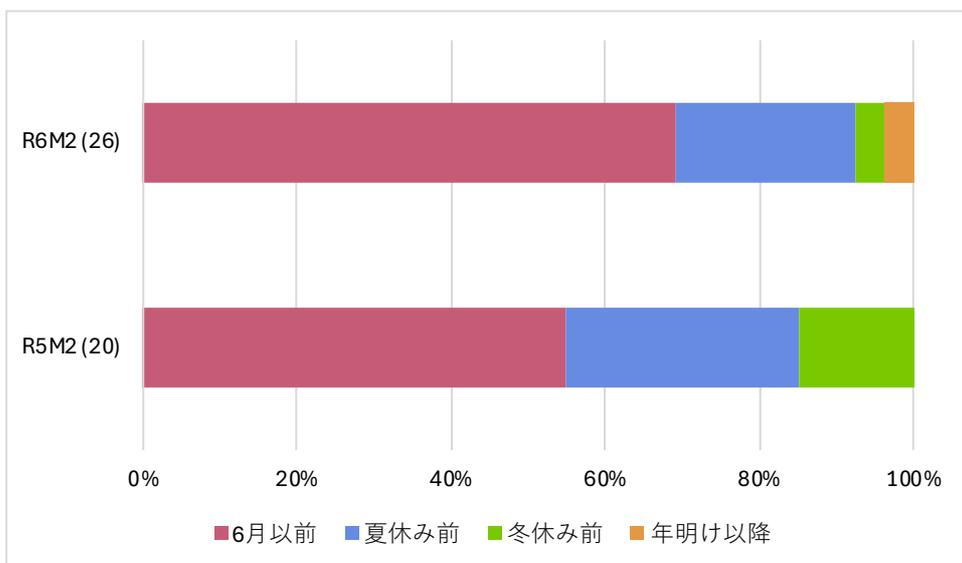


・M1の夏休み前までに調べ始めている学生が8割弱。

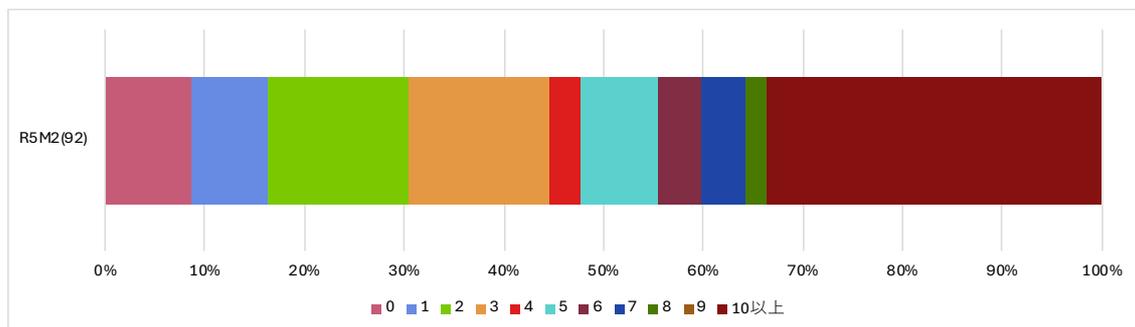
情報収集を始めた時期は適切だったか



情報収集はいつから始めるべきか (適切でないと答えた場合のみ)

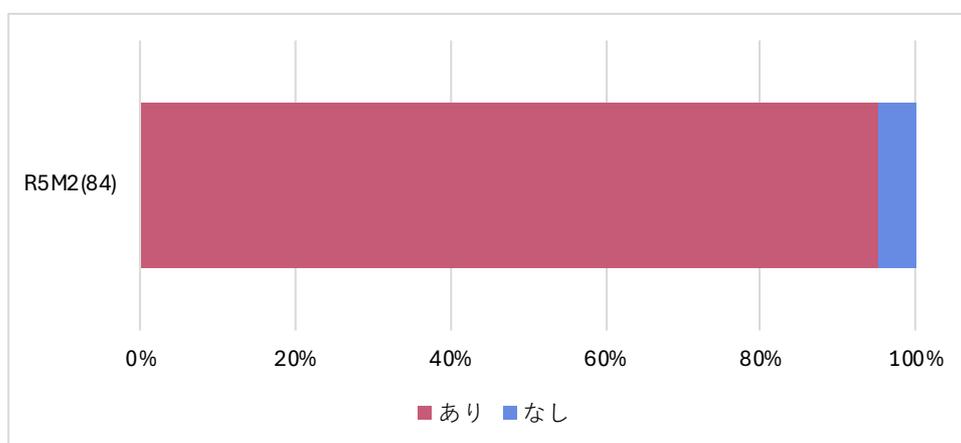


1day インターンに参加した回数 (R5M2 のみ)

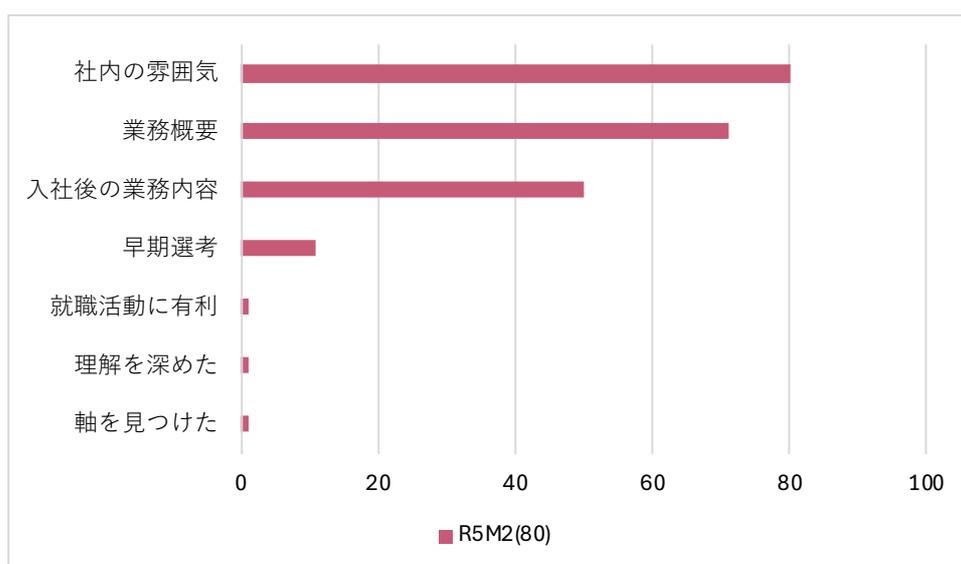


※1day を含むインターンシップに参加した回数

参加のメリット (R5M2 のみ)

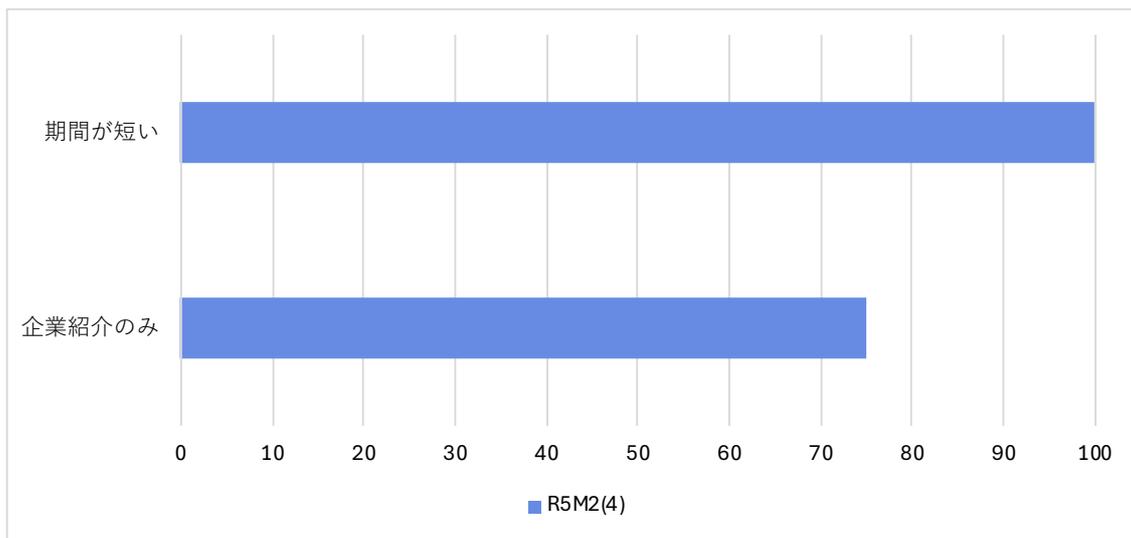


どんなメリットか (メリットあり回答者、複数回答可、R5M2 のみ)



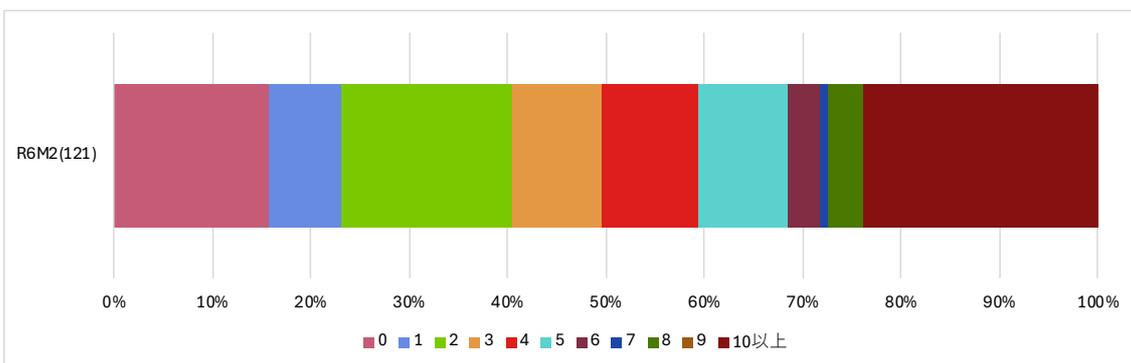
・%で表している (全体 80 人)

メリットがないのはなぜ（メリットない回答者、複数回答可、R5M2のみ）



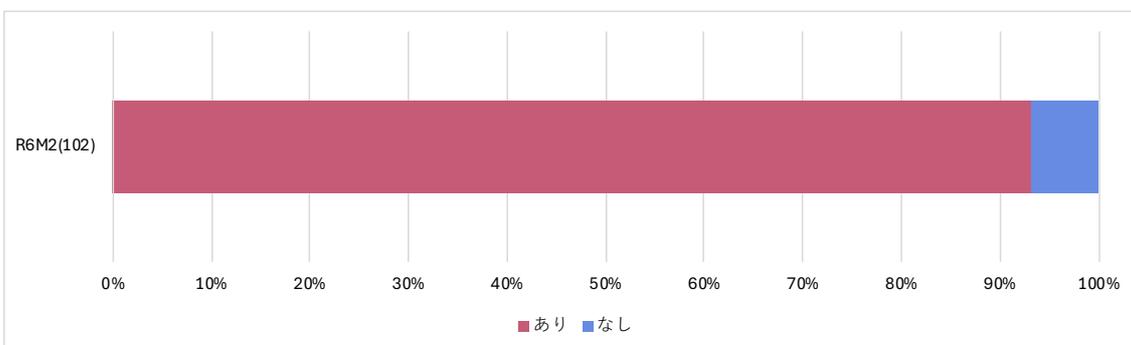
・%で表している（全体4人）

オープンカンパニーに参加した回数（R6M2のみ）

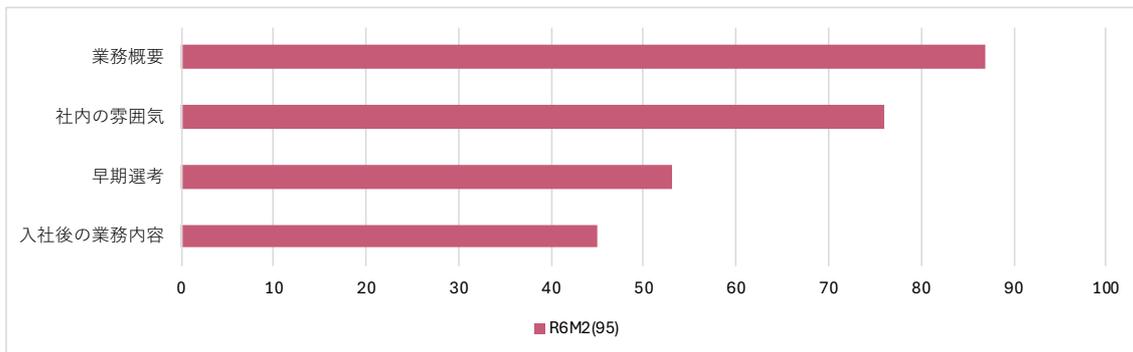


・0~4社の学生と10社以上の学生が多く、二極化している傾向あり

参加のメリット（R6M2のみ）

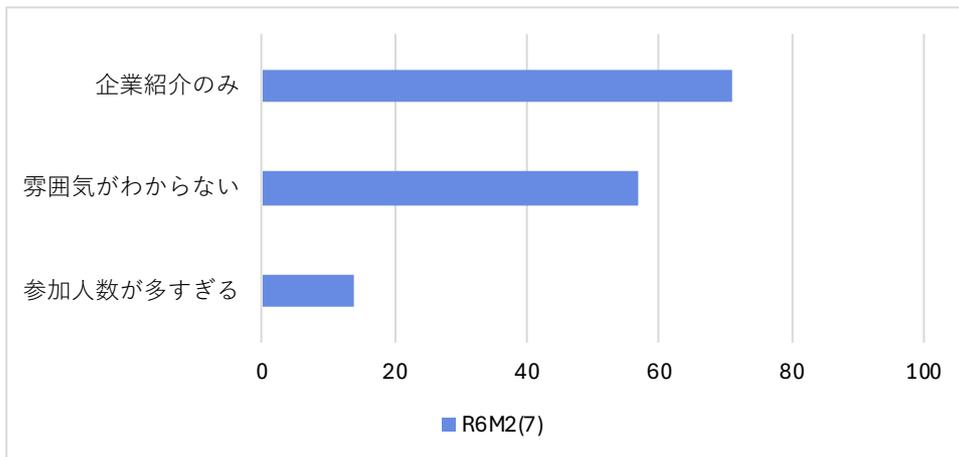


どんなメリットか（メリットあり回答者、複数回答可、R5M2のみ）



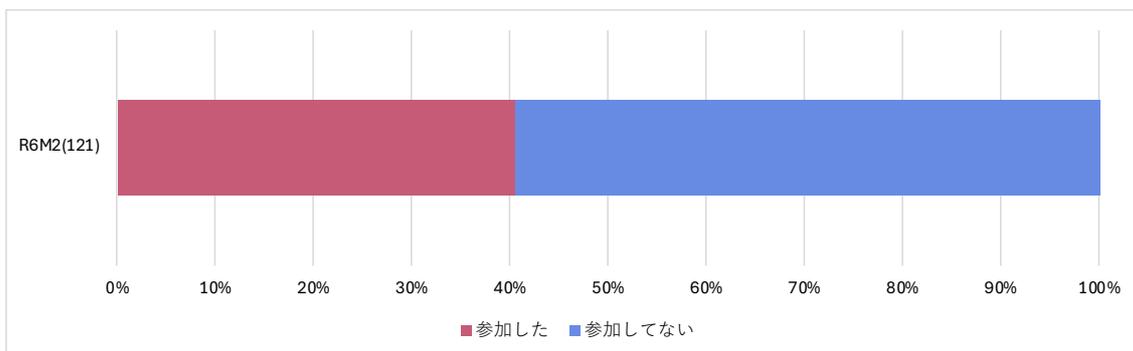
・%で表している（全体 95 人）

メリットがないのはなぜ（メリットない回答、複数回答可、R6M2のみ）

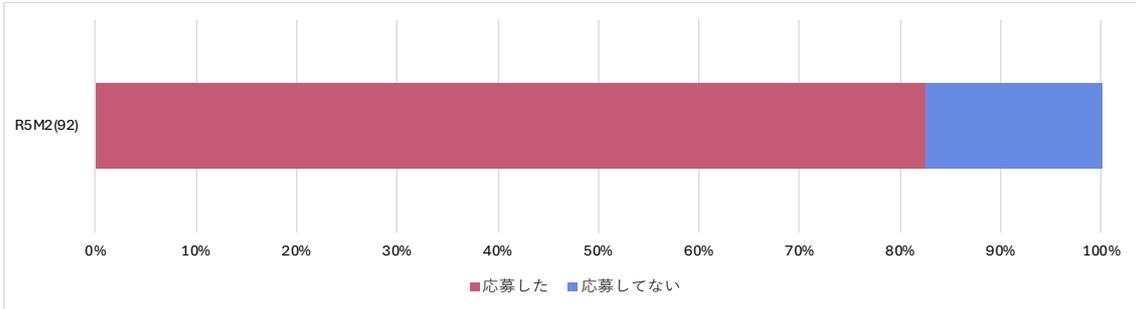


・%で表している（全体 7 人）

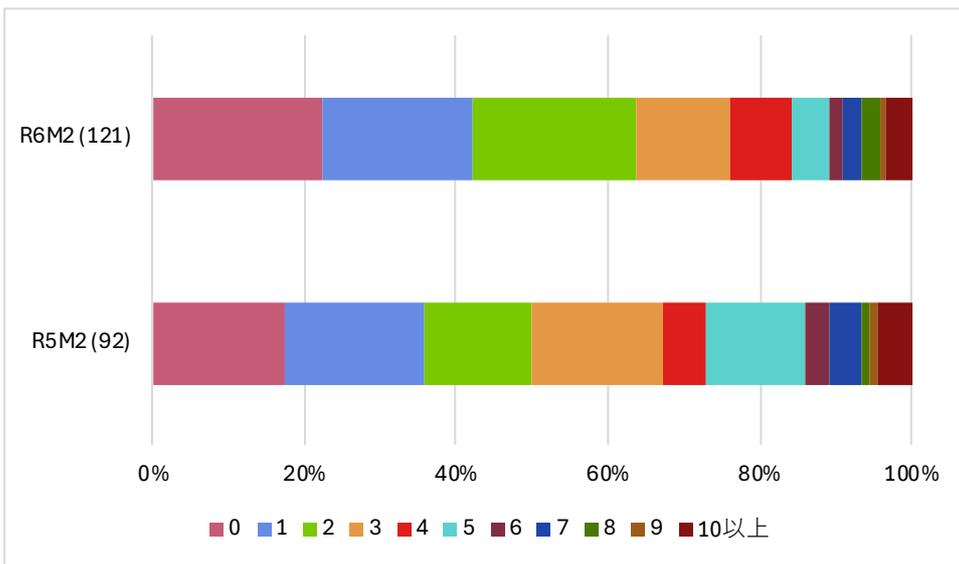
5 日以上のインターンシップに参加したか（R6M2のみ）



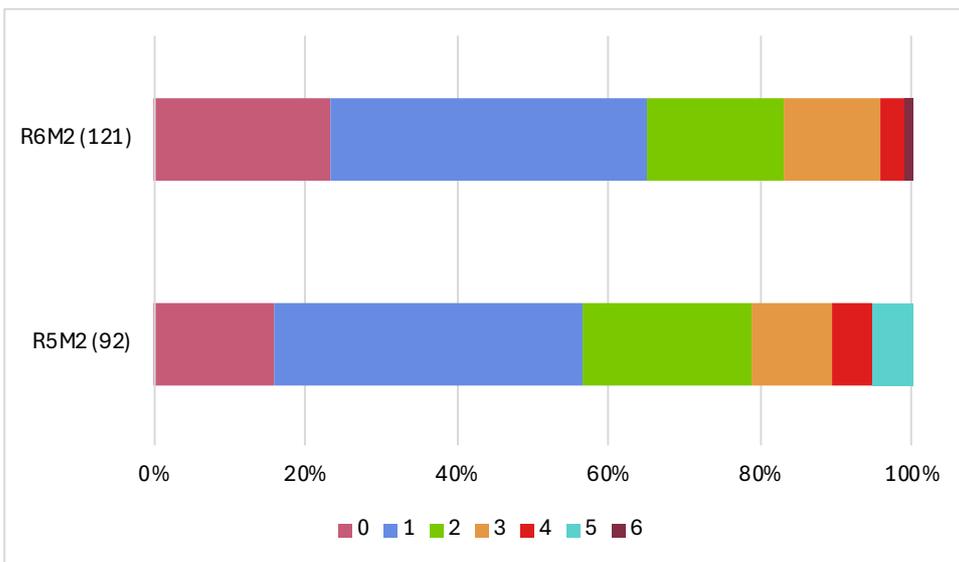
インターン参加した企業に選考応募をしたか (R5M2のみ)



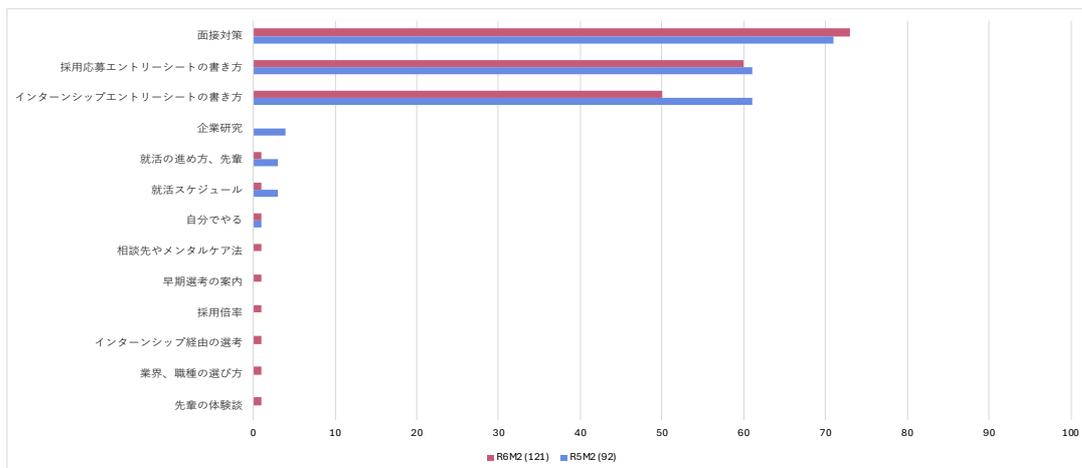
インターンシップ受入企業のうち、実際に応募した企業数



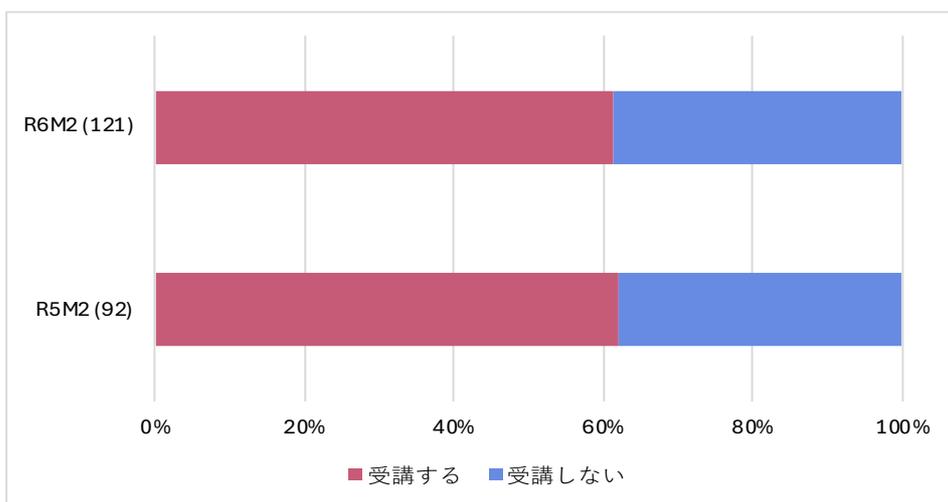
インターンシップ受入企業のうち、内定をもらえた企業数



就活で教えて欲しい情報（複数回答可）



エントリーシート作成法のガイダンスがあれば受講するか



ガイダンスの最適時期

